

<p><b>【技術の名称】</b>                  H-A P 工法                  -H型PCパイル圧入工法- (改定2)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第06-23号 改2                  性能証明発効日：2011年2月9日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社アオモリパイル</p>
--	--

**【技術の概要】**

本工法は、オーガーを用いて地盤を掘削した後、掘削孔中にH型断面を有するプレストレストコンクリート杭を建て込み、これに圧入力を作用させることで所定の深度まで貫入させる杭工法である。本技術は、2007年3月6日に(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第06-23号として性能証明されたものであり、2009年5月12日の改定では、施工管理における管理値の変更を行っており、今回の改定では、先端地盤が粘性土地盤の場合の最大施工深さの変更を行っている。

**【技術開発の趣旨】**

本技術は、戸建て住宅等の小規模建築物を対象として、低振動・低騒音杭工法であり、かつ、残土の発生がない環境面にも配慮した工法として開発したものである。また、施工時にリアルタイムで圧入力を計測することで、確実な施工管理を行うことができる技術である。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する施工基準に従って施工されたH型断面を有するプレストレストコンクリート杭の許容支持力を定める際に必要な地盤の極限鉛直支持力は、設計基準に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できると判断される。

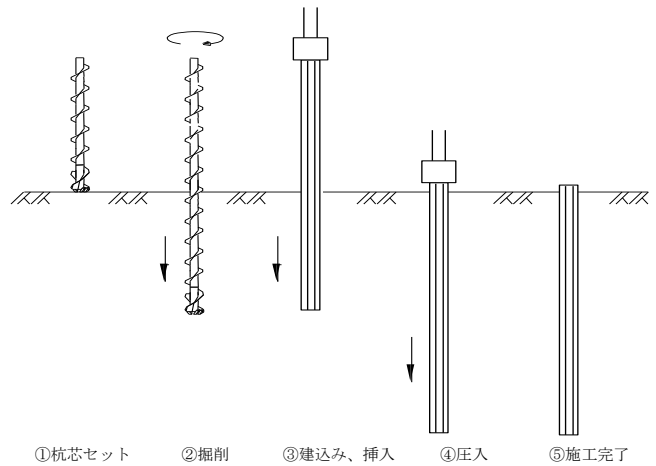


図-2 工法概要図

[地盤条件による許容鉛直支持力]

$$Ra=1/3 \{ \alpha_{sw} \overline{N} A_p + (\beta_{sw} \overline{N_s} L_s + \gamma_{sw} \overline{N_c} L_c) \psi \}$$

	$\alpha_{sw}$	$\beta_{sw}$	$\gamma_{sw}$
砂質土地盤	300	3.6	5.7
粘性土地盤	200		

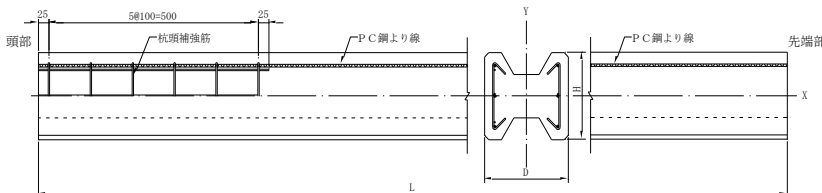


図-1 杭体構造図



写真-1 施工状況

**【本技術の問合せ先】**

株式会社アオモリパイル 担当者：板垣 博

E-mail : itagaki@aomori-pile.jp

〒039-1501 青森県三戸郡五戸町大字上市川字大タルミ 97-2

TEL : 0178-61-5511 FAX : 0178-68-2717